

[別紙③]

第6学年 道徳 学習指導案

- 1 主 題 誰もが自分らしく生きるには 公正、公平、社会正義C-(13)
 2 資 料 名 「私らしく生きたいな」(自作資料)
 3 ね ら い ・ 性についての偏った見方や考え方の誤りに気付き、偏見をなくしていくため、自分なりに行動しようとする態度を養う。
 ・ 偏見や不合理をどのように改めていくか、相手の思いに寄り添いながら話し合うことで、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現をめざそうする態度を身に付けさせる。
 4 人権教育の内容 差別と人権問題についての学習2-(2)-ア
 5 展 開

学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点・評価(※)
1 資料を読み、あずさのことばの中で気になる部分に線を引く。【個】	○ あずさのことばの中で、のぞみは答えに困ったものとなることばはどの部分でしたか。 ・ 彼氏・気になる男子・女の子やからかわいい服着たら・男っぽい	○ 気付にくい児童には、悩みのぞみの立場で考えるよう助言する。 ○ 理由を比べ合わせ、あずさの性に対する偏見が原因であることに気付かせる。〈考〉
どうすれば、のぞみが「悩みを打ち明けよう」と思える関係がつけられるのだろう。		
2 黙ってしまったのぞみの思いを考え、話し合う。【個→班→全】	○ のぞみは、黙ってしまった時、どんなことを考えていたでしょう。 ・ 私のこと、分かってくれていない。 ・ 信頼できると思っていたのに。 ・ 私がおかしいのかな。これからどうしよう。	○ 班での対話を取り入れ、異なる考えにふれさせる。あずさへの信頼が薄れ、悩みを打ち明けにくくなったことに気付けるようにする。〈深〉
3 気になったあずさのことばを、のぞみが受け入れやすいことばに変える。【班→全】	○ あずさのことばで、気になった部分を変えてみましょう。 ・ 「彼氏」は、「好きな人」と言いかえる。「気になる男子」も、「気になる人」のほうが答えやすい。 ・ 「かわいい」は別にいいと思う。 ・ 「女の子」と「かわいい服」を結びつけるのが良くない。「のぞみは、かわいい服好きなん」にする。 ・ 相手が好きで着ている服を否定せず、「似合ってるやん」と言う。	○ ①「彼氏・男子」②「女の子なんやからかわいい服着たらええのに」③「でも、男っぽいやん」の3つを提示し、どれから話し合うか、班ごとに決めさせる。 ○ 安心して発言できるように、どの友だちの考えも受け入れながら聞くように助言する。異なる考えのうち、より良いものを選択できるよう、ピラミッドチャートを使って話し合わせる。〈伝〉〈考〉
4 映像資料を見て、本時の学習をふり返る。【全→個】	○ 「そうしさん」がカミングアウトできたのは、周りに「その人らしさ」を認める人がいたからです。みんなの努力や学習によって、カミングアウトしなくてもいい社会は、少しずつ近づいています。 ○ 今日のふり返りを書きましょう。 ・ 何気なく使うことばでも、決めつけにつながることもある。正しく知っておいて気付いていきたい。 ・ 相談してもらいやすい自分であるため、これからも学び続けたい。	○ 認定NPO法人 ReBit の映像資料「そうしさん」の語りを基に、ありのままの自分を受け入れてくれる友だちの存在がいかに大切かを知らせる。 ○ めあてに即して、「考えが変わったこと」や「自分らしく生きる社会を作るために必要なこと」についてふり返らせる。〈深〉 ※ 性についての偏見に気付き、それをなくすために何ができそうか考えている。(記述、発言)

